

「通いの場」通信

Vol.38

令和5年12月6日発行

平成30年7月豪雨災害から5年が経過しました。被害の大きかった倉敷市真備町でも、多くの方が生活を再建され、活気を取り戻しつつあります。そのなかで、つながりを紡ぎ、人が交流するきっかけとなる「通いの場」も、地域の復興の大きな後押しとなっています。

畑づくりからはじまった 地域のつながりづくりのちょっといい話

真備町緑化協会ガーデニング部会の森本副会長は「真備町内の子どもたちに芋ほり体験をさせてあげたい」との思いから、協会の有志のメンバーで『グリーンパークまび』の畑に苗を植えました。メンバーで水やりや畑の世話をするうちにつながりが深まり、畑以外でも集まる新たな通いの場も生まれました。

畑を耕すつながりから
新たな通いの場ができました♪



畑以外でも
集まろうや！



グリーパークまびでの芋ほり大会の様子



近隣の幼稚園や保育園の園児を招いた芋ほり大会では、川辺地区社会福祉協議会の役員や、園地区の通いの場（上有井・下有井の女子会）の皆さんのが付き添ってくれて、お互いが元気をもらえる交流にもなりました。



「みて！みて！
大きなお芋がたくさん掘れたよ！」



私も元気
もらつたで～

通いの場からのお役立ち情報～！！！出前講座編

生活支援コーディネーターが地域を回ったり、サロン交流会を開催するなかで、皆さんからお聞きした通いの場運営の悩みやつぶやき。例えば・・・



通いの場の「ネタ」に困った時、みんなどうしているのかな？

真備の通いの場で盛り上がった3つの活動事例をご紹介します！



真備担当：小野生活支援コーディネーター

1

1 デコスイーツづくり 下田口いきいきサロン

先生の指導のもと、カップケーキの上に先生が作ったフルーツやキャンディなどのミニチュアを好きなようにかわいくデコレーションした「デコスイーツ」を作りました。高齢の参加者も、気分が明るくなり少女のような気分が味わえました。



「乙女の気持ちを思い出すわ」

2

2 キャンドルづくり 境2区サロン

同じ町内のご近所さんサロンではオリジナルキャンドルづくりを体験。そこには小さい頃からのつながりで、近所の小学生や倉敷まきび支援学校に在学中の生徒も自然と参加しています。「近所のおばちゃん」が手伝ってくれたり、片付けと一緒にしたりと、温かい雰囲気の中で世界に一つだけのキャンドルが出来上がりました。



「指の運動にもなったね！」

3

3 口腔ケア講座 呉妹介護予防教室

医療法人社団東風会の出前講座では「老化は口からはじまります」と、オーラルフレイル※予防を教えてくれました。ガムを噛んで、噛む力を自分でチェックしたり、お口のエクササイズを指導してもらったりと、参加者は歯医者さんでしか聞けない専門的なことを習えて大満足でした。



「普段聞けない話はいい刺激になるね」

※「オーラルフレイル」…口や歯の機能が衰えた状態

生活支援コーディネーター お問い合わせ先



通いの場についての
お問い合わせはこちらへ！

全市・倉敷担当 (地域福祉課)	水島担当 (水島事務所)	児島担当 (児島事務所)	玉島・船穂担当 (玉島事務所)	真備担当 (真備事務所)
TEL434-3301	TEL446-1900	TEL473-1128	TEL522-8137	TEL698-4883